

第 1494 回 ガバナークラブ公式訪問合同例会

9月27日(火)金沢国際ホテルにおいて、ガバナークラブ公式訪問合同例会が開催されました。

今年は地区ガバナーの入場式は省略され、粛々とプログラムが進行しました。

はじめに、担当の金沢伏見LC会長 小坂朋之L.より歓迎の挨拶があり、続いてゾーンチアパーソン米泉正克 L.よりゾーンの現状課題の報告があり、名誉顧問蔵大介L.の年4回の国際会議出席、8時から5時までの理事会など、国際理事としての活動の報告がありました。



L I O N を立ち上げ、思いやりライト運動は交通安全の啓蒙として、地区のLCが

一斉に同じ事業をすることによりスケールメリットが生まれます。また、キャビネットの事務局固定化、資料のデータ化、中長期を見据えて合理化を図ります。社会のステータスよりもLCとしての新しい価値を見出すことが大切ですと挨拶を締められました。



地区ガバナー戸祭宏樹L.(鯖江王山LC)(5R2Z)の挨拶では、地区ガバナーの仕事は国際会長のメッセージを伝えることと述べられ、国際会長の「やればできる」のビデオ鑑賞がありました。



また同時に行われた「合同献血」では全体で約150名の献血がありましたが、当クラブでは3名と少なく、今後皆様の更なる協力をお願いいたします。

アクティビティー便り

9月30日のライオンズ奉仕デーには、交通安全の啓蒙活動として、夕方にドライバーの皆様が早めにライトをつけていただくことの啓蒙活動とした「思いやりライト運動」を実施いたしました。稲葉委員長の説明を皮切りに尾山神社前の道路筋四箇所にメンバーが配置され、のぼり旗やプラカードを手に、道路を走るドライバーの方々にPRさせていただきました。最後に中村第二福会長からご挨拶を頂き無事終了いたしました。

334-D地区スローガンはWe Serveで新たな出会い～New Beginning～ですが、様々な事業を通じて、知り合える仲間を多く作ってほしい。そして、地域の方と一緒に活動してほしいと述べられ、我々はTEAM LIONSである。価値あるクラブとして、地域が求めているアクティビティ考え、地域に必要とされるクラブになる。そして、魅力あるクラブ、成長できるクラブを目指してくださいと力説されました。

今期の改善として、公式LINEの製作、Go To



(記事 計画委員会)